



# 平成17年度の達成度報告 平成18年度の業績計画

地域の自活を支える  
みちづくり

県民参加の  
みちづくり

人と自然を  
大切にす  
みちづくり

広域交流を  
進める  
みちづくり

すべてのアウトカム指標において目標を達成しました。

平成17年度は8つの全てのアウトカム指標において、目標を達成することができました。引き続き平成18年度の目標達成に向け効率的・効果的な道路行政を推進していきます。

政策テーマ	アウトカム指標（代表指標）	平成15年度	平成16年度	平成17年度		平成18年度	平成19年度
		実績値（基準年）	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
地域の自活を支える みちづくり	<b>1 渋滞損失時間</b> <sup>※1</sup> 渋滞のない場合の所要時間と実際の所要時間の差（損失時間）	4,560 万人時間/年	4,321 万人時間/年	4,294 万人時間/年	達成! 4,185 万人時間/年	4,133 万人時間/年	4,104 万人時間/年
	<b>2 圏域中心都市30分圏人口カバー率</b> 圏域中心都市まで30分で到達可能な地域に住んでいる人の割合 圏域中心都市……山口市、宇部市、下関市、周南市、柳井市、岩国市、萩市、長門市の8市	81%	81%	81%	達成! 81%	81%	82%
	<b>3 要防災対策箇所解消率</b> 平成8年度道路防災点検において要防災対策箇所として指定を受けた箇所の解消割合	19.6%	20.7%	22.6%	達成! 22.6%	23.2%	向上に努める
人と自然を大切にす みちづくり	<b>4 死傷事故率</b> 交通量および延長（走行台キロ）に対する死傷事故件数	70.7 件/億台km	70.5 <sup>※2</sup> 件/億台km	削減に努める	達成! <sup>※3</sup> 67.6 件/億台km	削減に努める	削減に努める
	<b>5 歩道設置率</b> 県道以上の総延長に対する歩道設置延長の割合	39.8%	40.4%	40.8%	達成! 40.8%	40.9%	42.0%
	<b>6 CO<sub>2</sub>排出量（自動車交通）</b> 山口県内の道路交通に関する年間の燃料消費により算出したCO <sub>2</sub> の排出量 <sup>※4</sup>	320万 <sup>※5</sup> t-CO <sub>2</sub> /年	351万 <sup>※6</sup> t-CO <sub>2</sub> /年	削減に努める	達成! <sup>※7</sup> 332万 <sup>※7</sup> t-CO <sub>2</sub> /年	削減に努める	300万 <sup>※7</sup> t-CO <sub>2</sub> /年
広域交流を進める みちづくり	<b>7 高速IC30分圏人口カバー率</b> 高速道路のインターチェンジまで、30分以内でアクセス可能な地域に住んでいる人の割合	90%	90%	90%	達成! 90%	90%	94%
県民参加の みちづくり	<b>8 道路利用者満足度</b> <sup>※8</sup> 道路使用者（県民）へのアンケート調査等に基づく、道路全般に対する満足度の合い（5点満点）	3.05	3.13	向上に努める	達成! 3.31	向上に努める	向上に努める

※1 プローブデータ（車載器から通信により収集される車両の位置、速度等の情報）をもとに算定

※2 平成16年度確定値（平成16年度暫定値（69.5件/億台キロ）から変更

※3 平成17年度暫定値

※4 山口県環境白書における公表値

※5 平成11年実績値

※6 平成13年実績値

※7 平成14年実績値（最新公表データ）

※8 道路利用者満足度調査（国土交通省道路局）

## 平成17年度の代表事業紹介



### 国道191号 下関北バイパス

下関地域の慢性的な渋滞緩和を目的とした、総延長6.8kmのバイパスです。平成18年3月に下関市汐入町～武久町間の1.1kmを部分供用しました。



### 県道 藤生（停）錦帯橋線 （平田バイパス）

岩国地域の慢性的な渋滞緩和及び新岩国駅や岩国ICへのアクセス向上を目的とした延長3.7kmのバイパスです。平成17年8月に岩国市海土路～御庄間を供用しました。